

第3学年道徳科「目標を達成するために」

学習指導者 藤川 裕人

目標についての質問紙調査の結果や困難を乗り越えた3人の登場人物を知った子供たちは、「自分も困難に負けずに目標を達成したい」という思いをもち、「3人の生き方から、目標を達成するために大切なことを見付けよう」という単元の目標を設定しました。その後、困難な状況の際の気持ちや乗り越え方を想像しながら話し合い、目標達成に必要な大切なことを考えていきました。

西川さんの生き方から、目標を達成するために大切なことは何か考えよう

【見通し】

前時に高橋さんについて学んだことを想起し、今日は西川さんの生き方について考えることを確認しました。なぜその目当てにしたのかを共有する中で、子供たちは、「高橋さんとはまた違う大切なことを見付かるかもしれない」と学習の興味を捉え、本時への意欲が高まりました。その後、「道徳の学び方ポイント」を基に、本時で意識したい学び方を選びました。子供たちは、「前の時間に友達と交流したら新しい考えに気付けたから、今日も友達の考えを大切にしたい」など、自分なりの理由を添えて学び方を選ぶことができました。



【行動】

西川さんが指を動かさなくなったときの気持ちを想像しました。「夢が届かなくなったようでつらい」「自分の価値が分からなくなる」などと、西川さんの苦しい心情に共感しました。その後、クラゲチャートを使って、西川さんが努力を続けられた理由を考えました。「今できることを少しずつ続けた」「応援してくれる人に応えようと思った」など、多様な視点から理由を捉えました。最後に、西川さんの演奏映像を視聴し、「つらさを乗り越えているから心に響く」などと、演奏の背景にある生き方にも目を向けました。



【振り返り】

「学び方」「目標を達成するために大切にしたいこと」「自分とのつながり」の3つの観点で本時の学びを振り返りました。「友達の考えを聞いたから、目標を達成するために今できることを工夫することが大切であると分かった」などと、本時できた学び方を通して目標を達成するために大切なことを表出しました。さらに、「これからは、すぐあきらめずに、できることを探して続けたい」など、本時の学びと自分とをつなげて振り返ることができました。



成果と課題

○努力を続けられた理由を多様に捉えることができた。クラゲチャートを使うことで、「支えてくれる人」「気持ち」「工夫」など複数の観点から考えることができたのではないかと。また、学び方についても正しく捉えることができていた。

▲西川さんの生き方を「すごいな」で終わってしまい、「自分の生活のどんな場面で生かせるか」まで考えが進まない子がいた。自分とのつながりを考えるような問い返しをすることで、より自分とつないで考えることができたのではないかと。